7月新着図書案内

上旬版
富山中部高校図書館

図説　フランス革命史

竹中　幸史　著

暴動、陰謀、虐殺。果てはルイ１６世とマリ・アントワネットを断頭台に送り、ナポレオンの天下を生んだ、近代史上最大の事件「フランス革命」とは何だったのか？　熱狂と妥協、希望と絶望の時代、人びとはいかに生き抜き、われわれに何を残したのか？　最新の学術成果をふまえ、気鋭が「革命」の真実に迫る。

いのちと心のごはん学

小泉　武夫　著

食の礼儀、菜食生活、はたまた旬の味わいや発酵の利用……、古くから受け継ぐ暮らしの文化を「ごはん学」という視点から綴り直すとき、命に感謝し、他者との絆を大切にする日本人の姿が浮かび上がる一冊。NHKラジオ『こころをよむ』内「食べるということ」の書籍化。

内向型人間の時代

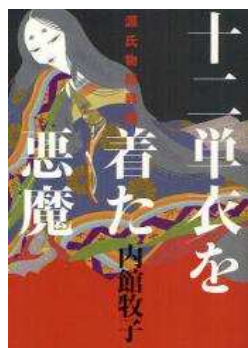
社会を変える静かな人の力

スーザン・ケイン　著

内向型の人間はほんとうに社会で不利なのか？自己主張ばかりの外向型より、じつは内気でシャイな人間のほうが優位に立てる？　オバマ、ビル・ゲイツ、バフェット、ガンジー、アインシュタイン……　物静かで思索的な内向型の人たちが社会を築きあげてきた。内向的だからこそ秘めているパワーに迫る。全米ミリオンセラー。

赤毛のアンの
プリンス・エドワード島紀行

松本　侑子　著

『赤毛のアン』の舞台プリンス・エドワード島を著者モンゴメリとの関連を明らかにしつつ徹底ガイド。特にグリーン・ゲイブルズについては見落としがちな部分も含めて詳細に解説。物語に登場する花を含め、全ての写真は実際に現地で撮影。シリーズ全巻のあらすじが書かれているので本編を読んでない人でも楽しめる。一読の価値あり！

十二単衣を着た悪魔

内館　牧子　著

日本では、千年前から男は情けなく、そして女はしたたかだった……　。光源氏を目の敵にする皇妃と、現代からトリップしてしまったフリーターの二流男が手を組んだ！？　構想半世紀、渾身の書き下ろし小説。人間の本質を描き続けてきた内館牧子が描く、本家本元よりもリアルで面白い、もう一つの『源氏物語』。

図書館からのお知らせ

7月8日～12日まで
蔵書点検のため
閉館します。
貸出期間が過ぎた本は
返却してください。

7月新着図書案内

中旬版
富山中部高校図書館

地名は災害を警告する
由来を知りわが身を守る
遠藤　宏之　著

震災により防災意識が高まった今、自分の住む土地の安全度を確認したい、という声が多くきかれるようになった。本書は地名の由来を知ることで過去にあった災害を読み解き、自然とうまくつきあいつつ、最悪の事態を回避する知恵を提供する。

体内時計の謎に迫る
体をまもる生体のリズム
大塚　邦明　著

私たちは、体の中に時計を持つ。時計はいろいろなリズムを刻み、朝・夜、夏・冬など環境変化を予知し、体の機能調節を行う。なぜ心筋梗塞が朝に多いのか。実は時計と病気には深い関係がある。このリズムを制御している時計とは一体どんなものか。体内時計の謎を明らかにしていく。

占いにはまる女性と若者
板橋　作美　著

占いに何を求めているのか、なぜ信じるのか、「信じない」と強調するほど気になるのはなぜか―　。占いの仕組みを二項対立構造や隠喩、分類方法、恣意性などに分解して検証し、「たかが占い」と思いながらも自分の行動の指針をゆだねてしまう奇妙な心性を探る。

言語の社会心理学
伝えたいことは伝わるのか
岡本　真一郎　著

私たちは、ことばを「文字どおり」に使っているわけではない。話していないのに伝わることもあれば、丁寧に説明していても誤解されることがあるのはなぜか。社会心理学の視点から、敬意表現や皮肉など、対人関係のことばの謎に迫る。

百一夜物語
もうひとつのアラビアンナイト
鷲見　朗子　訳

『百一夜物語』は『千一夜物語』（『アラビアンナイト』）と同じ流れをくむ、アラビア語の説話集。『百一夜物語』はマグリブ（チュニジア、アルジェリア、モロッコ）とアンダルス（イスラーム支配下のイベリア半島）で流布。巨人の島、裏切られた王、さらわれる王女、空飛ぶ木馬など、『千一夜物語』との類似点と相違点を楽しむことができる、夢のようなアラブの物語をどうぞ。

図書館からのお知らせ

7月19日(終業式)は貸出冊数を無制限とします。夏休みに読む本を選んでみてはいかがですか？

7月新着図書案内

下旬版
富山中部高校図書館

世界を変えた17の方程式

イアン・スチュアート　著

この方程式が世界を変えた！ ピタゴラスの定理からブラック＝ショールズ方程式まで―　。人間の歴史を変え、今日の世界を作り上げるうえで重要な役割を果たしてきた17の方程式。これらの方程式の意味と重要性、後世への影響を豊富なエピソードで明らかにする数学ノンフィクション。

トリセツ・ヤマイ
ヤマイ世界を俯瞰する

海堂　尊　著

1000万部突破「チーム・バチスタ」シリーズの海堂尊が医師として書いた、世界一わかりやすい病気の取扱説明書<トリセツ>。メカニズムを知れば、病気が怖くなくなる！　かわいいイラストとともに、楽しく病気について学べる一冊。

標本の本
京都大学総合博物館の収蔵室から

村松　美賀子、伊藤　存　著

動植物から化石や鉱物に至るまで、京都大学総合博物館の収蔵室は約260万点を収蔵する圧巻のワンダーランド。一般公開されていない地下収蔵庫のさまざまな標本をビジュアルで紹介。生物学の本であり、美術書でもある書。オススメです。

ランドセル俳人の五・七・五
いじめられ　行きたし行けぬ　春の雨

小林　凜　著

たった944gでこの世に生まれた男の子。入学と同時に受けた壮絶ないじめ。母は、不登校という選択をした。学校に行けなくても、俳句があるから僕は生きていける。不登校の少年凜君は、俳句をつくり始めたことでいじめに耐えている―　。

三島屋変調百物語シリーズ
第1巻「おそろし」
第2巻「あんじゅう」
蔵書あります！

泣き童子
三島屋変調百物語　参之続

宮部　みゆき　著

不思議で切ない「三島屋」シリーズ、待望の第３巻。 主人公・おちかが聞きだしていく怪談は、怖いのにどこか切なく、今も変わらぬ人の営みの暖かさと厳しさが漂っている。著者ならではのとっておきの百物語。 一話完結なので読みやすい！

図書館からのお知らせ

夏の課題と部活動。
忙しい毎日ですが、
本を読んで
休憩するのは
いかがですか？